

「人権尊重社会をめざす県民運動強調月間」

8月1日(金)～31日(日)

児童・高齢者に対する虐待、女性に対する暴力、障害者のかたへの偏見からの差別など、さまざまな人権問題が増加しています。

また、インターネットを悪用した人権侵害など新たな人権問題も発生してきています。

「人権尊重社会をめざす県民運動」は、これらの現状に対応し「全ての県民がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会」を実現するため、県民総ぐるみで取り組む運動です。

【人権啓発フェスティバル】の開催

期 日 8月28日(木)
時 間 午前10時～午後4時40分
場 所 大宮ソニックシティ
内 容 講演&ライブ(山本コウタロー&ほぼウイークエンド)、人権作文発表、人権講演会(石原良純)、コンサート(ダ・カーポ)ほか

入場料 無料
問合せ 県県民生活部人権推進課
☎048-830-2255



人権作文

「人のやさしさ」

三沢小4年

田中 杏珠さん

私は、時どき病院で入院生活をしたことを思い出します。二年生の時の事でした。それは、私の病気をなおすためのけんさ入院でしたが、手じゅつすることもあったので、十日間の入院生活となりました。

入院したその日は、父も母も病室にいてくれました。病室は六人部屋で知らない人ばかりです。夜になると

「また明日来るよ。」
と言って帰ってしまいました。

とてもさみしくて泣きたい気持ちでいっぱいでした。

でも、その時、私の前にいたお姉さんが、

「カードゲームする。」
と言ってくれました。とてもうれしかったです。お姉さんも、

何回も入院していると言っていました。お姉さんは病気のなに、

いつもニコニコしてて、だれにでもやさしいのです。その日は、

父や母が帰ってもお姉さんが、
いてくれるだけでいられるんだ

と思いました。

次の日、Aちゃんという、私と同じ年の子が入院してきました。Aちゃんはさみしい思いをしているだろうと思いました。

私はお姉さんのしてくれたことを思い出して元気づけようと私のベッドによんで、ぬりえをしたり、ゲームをしたりして遊びました。

数日後、ほかの病室からBちゃんという子がきました。その子とも仲よしになりました。その日から三人で食どうに行ったり、遊んだり、歯みがきをしましたりしました。

次の日は、お姉さんがたい院紙がおいてありました。「また、みんなでがんばろうね。」と、書いてありました。その時私は、

「がんばろうね、ありがとう。」
と、いつまでも手紙を見ていました。

何日かして、手じゅつの日がやってきました。手じゅつ室に運ばれて、ますいをして、すぐねてしまったので、気がついた時は、病室にねていました。手じゅつはせいこうしました。

私には、Cさんというかんごしさんが、たん当になりました。とてもやさしい人です。たくさん話をしてくれたり、話を聞いてくれました。

Cさんがなんとなく元気な気がなく思ったけど聞くこともできなかつたので、私はお姉さんが手紙を書いてくれたように、Cさんに手紙を書きました。

Cさんは、「手紙ありがとう、元気になったよ。」

と言ってくれました。

それから何日かして、たい院で来る日が来ました。私はみんなにおり紙とおりづるをあげて帰りました。

四年生になって、たんにんの先生が、

「自分を見つめてみよう。」

とおっしゃいました。私は自分のよいところは、人にやさしくできるところと書きました。それは、二年生のころの病院生活で、お姉さんに手紙をもらったこと、さみしくなくすごせたこと、Aちゃんといっしょにすごして、とても楽しい思い出ができたこと、Cさんというかんごしさんに私の手紙で元気になつてもらえたことなど、みんなやさしくしてもらったり、やさしくできたことがあったからだと思います。

父も母もあの時、

「みんなにやさしくしてもらつてよかったね。」と言ってます。人にやさしくできるといふことは、自分もまわりのみんなも幸せになれるということだと思

いました。

今、四年生はとても楽しいです。でも一人でこまっている友だちがいたり、いじめられている友だちがいたら、私はすぐ声をかけて、

「どうしたの。」

「心配しないでね。」

「いじめはやめようよ。」

と言うことができます。